

Toyota Municipal Museum of Art Press Release

豊田市美術館 プレスリリース

2025.9.26



Toyota
Municipal
Museum
of Art

豊田市美術館



《蠟燭》 大正期 福岡県立美術館蔵

没後50年 高島野十郎展

Takashima Yajuro : 50 Years after His Passing

2026年1月6日[火]ー3月15日[日]

開館時間： 午前10時ー午後5時30分(入場は午後5時まで)

休館日： 月曜日(1月12日、2月23日は開館)

主催： 豊田市美術館、毎日新聞社

共催： 中日新聞社

協賛： 大和ハウス工業

協力： ブルーミング中西

会場： 展示室8



豊田市美術館サイト



高島野十郎展特設サイト

観覧料	一般	高校・大学生	中学生以下
当日窓口販売	1,500円	1,000円	無料
オンライン販売	1,300円	800円	—

*前売券及び20名以上の団体は当日窓口料金から200円割引

*前売券の詳細、その他観覧料の減免対象者及び割引等については、当館ウェブサイトをご確認ください。

開催趣旨

高島野十郎(1890-1975)は、「蠟燭」や「月」を独特の写実的筆致で描き、近年、全国的にも知られる存在となった洋画家です。福岡県久留米市に生まれ、旧制第八高校(現・名古屋大学)を経て、東京帝国大学(現・東京大学)を卒業後、絵かきの道を選びます。流行や時代の趨勢におもねることなく、理想と信念にひたすら忠実であった彼の作品は、観る者の心を静かに震わせ、魅了する力を宿しています。

本展は、東海地区で初開催であるとともに、初公開の作品や、岸田劉生など関連作家も含めた約170点を、4つの章で構成する過去最大規模の回顧展です。これまで「孤高の画家」と呼ばれてきた彼の芸術が形成されたルーツを遡り、作品に通底する仏教的思想を読み解きつつ、青年期や滞欧期の作品など、従来の展覧会では大きく取り上げられることがなかった部分にもスポットを当てます。

また、福岡県立美術館所蔵の書簡や日記、メモ等の関連資料を読み解き、関係者の証言を集めることで、彼がひとりの人間としてどのように生きたのか、そして周囲とどのような関係を築き、絵かきとしての歩みを進めたかという部分にも注目し、野十郎の人間像にも改めて迫ります。さらには野十郎の画業や芸術観の背景にあるものや彼が生きた時代の動きを探ることで、美術史のなかに野十郎の画業を位置付けることもめざします。

没後50年の節目に、高島野十郎の新たな全貌をご堪能ください。

展覧会の みどころ

①初公開の作品を含む、過去最大規模の作品点数

高島野十郎作品約155点(うち初公開約10点)、関連作家作品約15点に加え、関連資料を多数展示します。

②4つの章(+プロローグ、エピローグ)で構成

年代順ではなく、各章に「第1章 時代とともに」「第2章 人とともに」「第3章 風とともに」「第4章 仏の心とともに」と題して展示を構成します。

③「孤高の画家」像からの脱却

・家族、学生時代からの友人、画家仲間、文化人、また住まいの地域の人々など、各方面との密な関係性や、《蠟燭》をはじめとした作品を介した人とのかかわり、エピソードなどを通じて、信念を貫きつつも決して「孤立」していない画家の生き様を伝えます。

・書簡や手記、遺品など、これまで十分に紹介されてこなかった多くの資料により、画家の人物像や人生観を紹介します。

④初期作品における同時代の画家からの影響

・久留米出身の青木繁、古賀春江、坂本繁二郎との関係性を作品とともに紹介します。

・大正期に写実の美を追求した岸田劉生ら草土社の作品も展示し、野十郎が受けた影響を明らかにします。また、同時期に草土社に同調した名古屋や大阪の画家も展示することで、当時の美術の一動向も見ることができます。

⑤仏教との関係性に注目

あらゆるものに仏性が宿る「一切衆生悉く仏性有^{ことごと}」という教えなど、主題は異なっても同じ絵画思想に基づき描かれていることを解説します。

Toyota Municipal Museum of Art Press Release

豊田市美術館 プレスリリース



関連事業

●講演会 1「タイトル未定」

日時 1月18日[日] 午後2時—午後3時30分

講師 高山百合氏（福岡県立美術館 学芸課副長）

●講演会 2「タイトル未定」

日時 2月22日[日] 午後2時—午後3時30分

講師 西本匡伸氏（福岡県立美術館 特任学芸員）

●担当学芸員によるギャラリートーク

日時 1月17日[土]、2月1日[日]、2月21日[土]

各日 11時—12時

（いずれも詳細が決まり次第 美術館ウェブサイトでお知らせします）

お問合せ

豊田市美術館 〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1

HP:<https://www.museum.toyota.aichi.jp> e-mail:bijutsukan1@city.toyota.aichi.jp

- | | | |
|------------------|---------------|------------------|
| ● 展覧会に関すること | 学芸担当：成瀬、西崎 | Tel 0565-34-3131 |
| ● 掲載依頼・取材等に関すること | 広報担当：西本、大柳、大原 | Tel 0565-34-6748 |

没後50年 高島野十郎展 広報用画像について

当館ウェブサイト「広報用画像ダウンロード」申込みフォームより、ご希望の画像を申請してください。
「広報用画像ダウンロード」の画像提供サービスは、パソコンでのみダウンロード可能となります。
パソコンをお持ちでない方は、以下を記入のうえ、Faxでお送りください。

送り先：豊田市美術館 広報担当：西本、大柳、大原

Tel 0565-34-6748 Fax 0565-36-5103

e-mail: bijutsukan1@city.toyota.aichi.jp

お名前	様	ご所属
Tel	Fax	
e-mail	必要な画像の番号	
掲載紙／メディア名	発売、放送予定日	月 日 (月号、vol.)
必要な招待券枚数 (最大5組10名分)	枚	招待券の送付先

*読者プレゼントのため等、希望する場合のみご記入ください



- 1.《蠟燭》 大正期 2.《絡手をかけたる自画像》 1920(大正9)年 3.《からすうり》 1935(昭和10)年 4.《月》 1962(昭和37)年
5.《すいれんの池》 1949(昭和24)年 6.《さくらんぼ》 1956(昭和31)年頃

※全て福岡県立美術館蔵

- ・クレジットを必ず添えてください。
- ・作品写真のトリミング、文字のせはご遠慮ください。
- ・ご紹介いただく場合は、情報確認のためお手数ですがゲラ刷り等をお送りください。
- ・情報掲載後、献本または公開後の報告をお願いします。
- ・本展紹介でのご使用後は、各メディアの責任のもと画像データを削除破棄してください。

美術館使用欄 画像提供の依頼日 年 月 日 ☐画像送付 ☐校正 ☐修正 ☐配信・配本